



### 第368回 9月定例会

#### 一般質問

- |       |       |    |    |     |    |    |     |
|-------|-------|----|----|-----|----|----|-----|
| か     | わい    | とし | ひこ | いの  | うえ | ひ  | よし  |
| ・河合俊彦 | ・井上日吉 | ふじ | わら | たけし | やま | なか | おさ  |
| ・藤原健  | ・山中修己 | まつ | い  | まさ  | よし | だ  | しげ  |
| ・松井精史 | ・吉田成宏 | かわ | しま | のぶ  | ゆき | たけ | うち  |
| ・河島信行 | ・竹内修  | すす | がき | はじめ |    |    | おさむ |
| ・鈴木元  |       |    |    |     |    |    |     |

#### 議案質疑

- |       |       |    |   |    |    |    |    |
|-------|-------|----|---|----|----|----|----|
| ふじ    | い     | たま | お | まつ | もと | あき | のり |
| ・藤井玉夫 | ・松本哲昇 | かわ | な | よし | そう |    |    |
| ・川名善三 |       |    |   |    |    |    |    |

■ ■ ■ 議会傍聴 ■ ■ ■

9月定例会 50人

## 実りの秋を満喫！

### 神戸の小学生が稲刈り体験

神戸電鉄活性化協議会

## 9月定例会終わる

- こんなことが決まりました…… 2～3  
一般質問・質疑発言者…………… 4  
一般質問・質疑等について…… 5～10  
行政視察報告等…………… 11  
平成21年度決算に対する意見・要望… 12～13  
常任委員会審査報告…………… 14～15  
議会の動き…………… 16



## 9月定例会

# こんなことが決まりました。

9月定例会は、9月3日から9月30日まで28日間開催しました。平成21年度各会計の決算認定をはじめ、平成22年度補正予算、条例改正など議案15件を原案のとおり、可決・認定しました。

### 一部改正された条例

小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び小野市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、引用条項の条項ずれを整理するため。

小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について  
 児童扶養手当法の一部改正に伴い、父子家庭にも児童扶養手当が支給されることを受け、父子家庭における受給調整（公務災害補償支給額の減額）を図るため、関係する引用条項

の追加するため。

小野市手数料条例の一部を改正する条例の制定について  
 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、危険物の屋外タンク貯蔵所等の設置許可、保安検査等の審査にかかる手数料が引き下げられたことから、本条例で規定している当該検査等にかかる手数料の額の引き下げを行うため。

小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について  
 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令において、固体酸化物型燃料電池が発電設備に追加されたこと、及び、住宅用防災機器の設置及

び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令において、住宅用防災警報機等の設置の免除の項に「複合型居住施設用自動火災報知設備が設置されたとき」が追加されたことにより、関係条文の整備、引用条項の改正、追加を行うため。

### 補正予算関係議案

平成22年度小野市一般会計補正予算（第2号）  
 補正額 129,000千円 追加  
 総額 18,576,300千円

平成22年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
 補正額 1,248千円 追加  
 総額 5,407,248千円

平成22年度小野市老人保健特別会計補正予算（第1号）  
 補正額 2,230千円 追加  
 総額 5,530千円

平成22年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）  
 補正額 37,455千円 追加  
 総額 2,921,455千円

平成22年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 2,623千円 追加  
総額 387,623千円

平成22年度小野市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収支 0千円 科目組替  
資本的収支 500千円 追加

請願関係

中小業者の自家労賃を必要経費として認めることについての請願(討論あり)

採決の結果、不採択と決まりました。

補正予算の  
主な内容

今回の補正予算は、社会福祉協議会、福祉公社等の業務を一本化し、相談から各種支援に至る福祉のワンストップサービスの展開・支援を行うための福祉総合支援センターの整備概要決定に伴う債務負担行為の追加を行います。その他に、社会資本整備総合交付金を活用し、大池バス

平成21年度の各会計決算が認定されました

平成21年度 小野市歳入歳出決算の認定について

平成21年度 小野市都市開発事業会計決算の認定について

平成21年度 小野市病院事業会計決算の認定について

平成21年度 小野市水道事業会計決算の認定について

平成21年度 小野市下水道事業会計決算の認定について

※決算審査における意見や要望等は12～13ページに掲載しています。

ターミナルの新設、ひまわりの丘公園東側幹線道路の整備、市街地における公園整備として黒川西土地区画整理事業に関連した黒川西公園の整備を行います。

また、災害対策として、地域防災計画や避難勧告の判断・伝達マニュアルなど各種マニュアルの検証を行い、今後の災害に備えるなどの補正を行います。

(単位：千円)

	内 容	補正額	補正後
追加	◆福祉総合支援センターの整備 整備概要を決定し、債務負担行為として工事請負費等350,000千円を計上。	350,000 (債務負担行為)	500,000
新規	◆黒川西公園の整備事業 社会資本整備総合交付金を活用し、黒川西土地区画整理事業に関連した公園を整備する。 (用地取得面積 A = 1,300㎡)	27,100	27,100
新規	◆大池バスターミナルの整備 社会資本整備総合交付金を活用し、サティ前バスターミナルを整備する。	17,000	17,000
新規	◆市道213号線の整備 社会資本整備総合交付金を活用し、久保木町からひまわりの丘公園北側に続く道路を整備する。	40,000	40,000
新規	◆防災対策の検証 地域防災計画や避難勧告の判断・伝達マニュアルなど各種マニュアルの検証を行い、今後の災害に備える。	500	500
新規	◆自殺予防対策事業 自殺予防のための広報啓発(講演会、ポスター掲示)を行う。(県10/10)	700	700
追加	◆就労指導員の増員(生活保護費) 就労支援対象者の増加に対応するため、就労指導員の増員を行う。(国10/10)	750	2,550
追加	◆地域介護拠点の整備 小規模介護保険施設の開設準備経費に対する補助を行う。(県10/10)	17,000	69,500
新規	◆農地の利用集積事業 農地利用集積団体が行う農地の利用集積活動を支援する。10アール当たり2万円を助成。 (県10/10)	400	400
追加	◆ほ場整備に伴う地籍調査 万勝寺脇本地区ほ場整備事業に伴う山林境界確定のための調査、測量を行う。	3,170	12,225
追加	◆消費者生活相談事業の充実 啓発パンフレットや啓発用備品等を購入する。(県10/10)	7,500	9,812
新規	◆国語力向上事業 国語力の育成を図るため、話し方指導等の講座開催、先進校の視察を行う。(県10/10)	180	180
新規	◆運動プログラム実践推進事業 基礎体力向上を推進するための運動器具等の購入する。(下東条小学校・河合中学校)	200	200



小野市の世代をつなぐ体育祭開催

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

# 平成22年 9月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス：<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

## 一般質問発言者

- 河合俊彦 議員
- ・ 次期総合計画の策定について
  - ・ 市長選挙に向けて

井上日吉 議員

- ・ 新総合計画について
- ・ 地域防災計画の見直しについて
- ・ 市街地における自転車・歩行者道の整備について
- ・ (仮称)福祉総合支援センターの整備計画について
- ・ 学童保育について
- ・ 関西オープン選手権の開催について

藤原 健 議員

- ・ 太陽光発電設備の普及について
- ・ 建設業者の育成について
- ・ 中心市街地の活性化について
- ・ 介護ボランティア制度について

山中修己 議員

- ・ 「夢と希望の教育」の成果について
- ・ 未収金の管理・徴収について
- ・ 道路舗装整備5ヵ年計画の具体的な内容について

松井精史 議員

- ・ 下東条地区活性化の支援について
- ・ 観光戦略の構築について
- ・ 戸別所得補償制度モデル対策について

吉田成宏 議員

- ・ アセットマネジメントの導入について
- ・ 新しい米政策への取り組みについて
- ・ 高齢者の所在確認について

河島 信行 議員

- ・ 大池総合公園・エクラ・市立図書館周辺の整備について
- ・ 小野サティ店内での市民課窓口の設置について
- ・ 旧KDDI用地の事業推進について

川名善三 議員

- ・ 北播磨の基幹駅である粟生駅周辺の道路整備について
- ・ 粟生駅西側の浸水対策について

竹内 修 議員

- ・ 新婚夫婦世代の現状について
- ・ 地籍調査について

鈴木 元 議員

- ・ 高齢者の所在確認について

## 質疑発言者

- ・ 東条川整備について
- ・ 歴史教育について

藤井玉夫 議員

- ・ 議案第47号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)について

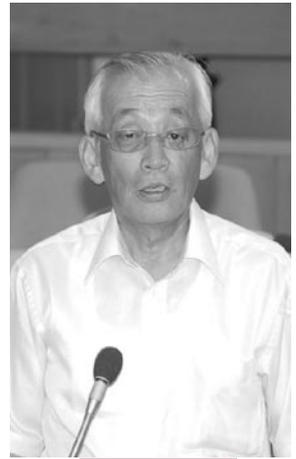
松本哲昇 議員

- ・ 議案第42号 平成21年度小野市歳入歳出決算の認定について
- ・ 議案第47号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)について

川名善三 議員

- ・ 議案第47号 平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)について
- ・ 議案第50号 平成22年度小野市介護保険特別会計補正予算(第1号)について





市民クラブ

河合俊彦 議員

後検討して参ります。(小林副市長)

### 次期総合計画の策定について

**質問** 公共交通の役割について

**答弁** コミュニティバスは単なる移動手段ではなく、福祉施策の一環として、サテイのバスターミナルの設置をはじめ、コミュニティセンター等への乗り入れ、フリー乗降制の導入など、利便性の向上を目指してまいります。

**質問** コミュニティセンターの役割について

**答弁** 地域活動の拠点としての役割は重要であると考えます。その管理・運営は、今後、地域自ら担っていくことにより、自立した地域自治を促進することになります。なお、小野地区につきましても、人口も全体の約4割を占め、エリアも広範囲であるにもかかわらず、その拠点はコミセンおの1ヶ所であり、本来の役割を果たす上で、将来的にこのままでよいのか小野地区のコミュニティセンターのあり方につきましては、今

### 市長選挙に向けて

**答弁** 小野市長選挙に向けた決意を述べさせていただきます。これまでに3期12年間は「徹底した行財政改革」とともに「市民の暮らし」に重点を置いた施策を進めてまいりました。一方で、今後の小野市を見据えた、「新たな未来への挑戦」も始まってまいります。まさに、「将来の小野市の礎を築いていくとき」といつても過言ではないと思います。

具体的には、「北播磨総合医療センター」を完成させること、小野東小学校の建替え、高齢化社会に対応するための福祉総合支援センターの建設、KDDI跡地の活用計画策定等に取り組みます。今後さらに厳しくなると予想される社会情勢でありますが、小野市の「更なる創造的変革」へ向けて、引き続き市政を担当させていただきます。その思いを表明させていただきます。(市長)



改革クラブ

井上日吉 議員

### 新総合計画について

**質問** まちづくりの基本理念について

**答弁** 基本理念は、まちの現状を多角的に分析し、更なる飛躍を目指して新たな創造と変革に挑み、市民の幸せと活力ある憧れのまちを実現することを基本理念とします。

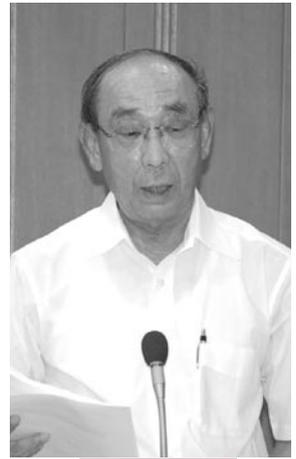
**質問** (仮称)福祉総合支援センターの建設にあたり建設場所の選定経緯について

**答弁** 市民アンケートは取っていませんが、準公的な福祉のサービスを1ヶ所に集約して、ワンストップサービスとすることで、関係団体からの理解を得ています。又、当初の予定では老人福祉センター「みやま荘」改修を考えていましたが、耐震補強工事が必要なことから、機能面に大きな制限が加わることから、費用対効果などを総合的に検討した結果現地での全面改築となりました。(井上副市長)

### 地域力を高める施策について

**質問** ①人材と組織を育成しリーダーシップを発揮できる人材育成。②地域の伝統や文化、多様な価値観や、個性のある、自主的、主体的な活動への支援。③「地域が地域を守り、地域が地域を育てる」ために、地域の更なる機能強化の推進や地域住民の意識改革も必要です。(小林副市長)

**答弁** 地域づくり協議会に用途を限定しない活動支援金を助成してありますが、地域力を高める上で、私は市民の皆さんを信じて良かったと喜んでいます。今、地域自らが知恵と特色を出され見違えるほど地域力がつきました。また、先ほどは、公民館を拠点とした地域の活性化という非常に良い提案を頂きました。私も現在、その活動支援について検討しております。今日こんな質問が出るとは思いませんが、今後は、それぞれの公民館を活動の拠点にした地域の活性化に向け、地域の皆さんを信じて予算化の検討を進めてまいります。(市長)



研政クラブ

藤原 健 議員

**太陽光発電設備の普及について**

**質問** 太陽光発電設備を一般家庭へ普及させようと、国の補助金に小野市単独の補助金を上乗せしての申込み受付けが始まりましたが、この太陽光発電設備の経済性はどのようなものか。

**答弁** 標準的な一般家庭が、太陽光発電だけで家庭の消費電力を賄おうとしたときの発電設備は、4人家族の場合、日照時間等の発電効率から勘案すると35KWのシステムが必要です。そして、太陽光パネルの大きさはメーカーによって異なりますが、183Wのパネル(モジュール)を設置する場合、35KWだと20枚が必要で、その面積は約26㎡(3m×8.7m)の大きさになります。また、設置費用はメーカーによって差はあるものの「パワーコンディショナー」や「発電量表示電力モニター」等の設備も入れて、約200万円程度となります。

経済効果については、3.5KWのシステム設置の1例としてですが、

1ヶ月当たりの消費電力料金が設備設置前8,000円の家庭では、設置すると5,000円になった結果が出ており、3,000円の節電となります。また太陽光発電に余剰電力が出ているときには、この余剰電力を電力会社に売電できますので、売電料金が月額約9,000円となり、3,000円の節電分と合わせると月額12,000円程度の経済効果が生まれています。

また、環境に対する効果は、3.5KWのシステムでは、1年間に石油約860リットル(ポリタンク47本分)の削減効果になります。

**質問** 将来構想について

**答弁** 平成22年3月に策定した環境基本計画で、「地球温暖化防止対策・普及プロジェクト」に位置付け、環境に優しい住宅環境整備の推進として、「平成31年度末で1,000戸」という目標値を設定しています。

(市民安全部次長)



市民クラブ

山中修己 議員

**「夢と希望の教育」の成果について**

**質問** 6年を経過して、小野市の大きな魅力になっている「夢と希望の教育」の成果について問う。

**答弁** 特徴は、川島隆太教授の脳科学理論を基盤に据えた小野市独自の教育システムであることと、このシステムが学校現場・市行政・教育委員会協働の産物であることです。個々の施策の特徴で、「おの検定」は「漢字」「計算」「体力」の基礎学力・基礎体力を小中一貫して習得させ、併せて、前頭前野を活性化させて「こころ」を育成する施策です。これらのテキストや縄跳びの検定表は小野市教員の手作りです。「16か年教育」は命が母胎に宿ったときから義務教育終了までの16年間を、脳科学の知見を生かした就学前教育支援や、「10歳の壁」に着目した小学校高学年の教科担任制、其々中学校区の特徴を生かした小中連携教育等を一貫して推進するもので、全国どこにもない

**未収金の管理・徴収について**

**質問** 未収金の管理と徴収について問う。

**答弁** 一般会計、特別会計、企業会計を合わせた未収金は平成17年度がピークで9億7,000万円でしたが、平成21年度は9億350万円であり、少しずつであるが減少しており、徴収率も県下で極めて高い順位を維持しています。(会計管理者)



研政クラブ

松井 精史 議員

観光戦略の構築について

**質問** 「播磨の国宝巡り」バスツアーについての効果と今後の計画について

**答弁** 鶴林寺、一乗寺、朝光寺、そして小野市の浄土寺、4か所を1日で巡る「播磨の国宝巡りバス」は大盛況となり、15便のすべてが予約で満席となり参加者は728名であります。今後もより充実した魅力あふれるツアーとなるよう努力してまいります。

**質問** 産業と観光の連携による観光戦略の一つとして、白雲谷温泉ゆひかの温泉水を利用した、パッションフルーツやドラゴンフルーツを栽培する観光農園を立ち上げ、温泉とともに相乗効果の創出を考えられたい。

**答弁** 小野独自の観光産業として大いに打ち出せるものと捉え、関係機関と協議し、実践していきたい。

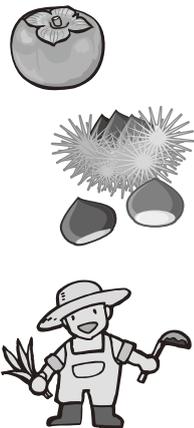
下東条地区活性化の支援について

**質問** 「味彩会」の今後の計画について

**答弁** 農産物フリーマーケット計画を基に、下東条地区で採れる安全でおいしい米や野菜等の直売。また新たな加工品の開発をして、食の提供を行っていく。そして、下東条らしさを出せる独自のメニュー作りと、拠点施設の選定、経営に関する研修会等を行ってまいります。

**質問** 加工施設の建設計画について

**答弁** 今年度に建設予定地を決定し、平成23年度調査設計、平成24年度実施設計ならびに農産物加工施設の建設予定です。  
(地域振興部長)



アセットマネジメントの推進について

**質問** 高度成長期に整備された公共施設は、今後更新のピークを迎えるが、現在の厳しい財政事情の下では、その適切な維持管理、長寿命化が課題と考えます。基礎資料となる各施設のデータ管理の現状と、今注目の社会資本管理のためのアセットマネジメントの推進について伺います。

**答弁** 市有の公共施設には、道路橋梁等の生活インフラから、学校等の教育財産、コミセンやエクラ等のサービス提供施設、上下水道や病院などの企業会計財産、庁舎市民会館など多くの施設があります。土地建物や上下水道施設台帳等はコンピュータシステムにより、その他は紙ベースの台帳で整理しています。「現場現物」を基本に本市が運用する方針管理システムで、限られた経費で最適の状態に保つ管理運営を行っています。アセットマネジメントについて

高度成長期に整備された公共施設は、今後更新のピークを迎えるが、現在の厳しい財政事情の下では、その適切な維持管理、長寿命化が課題と考えます。基礎資料となる各施設のデータ管理の現状と、今注目の社会資本管理のためのアセットマネジメントの推進について伺います。

**答弁** 市有の公共施設には、道路橋梁等の生活インフラから、学校等の教育財産、コミセンやエクラ等のサービス提供施設、上下水道や病院などの企業会計財産、庁舎市民会館など多くの施設があります。土地建物や上下水道施設台帳等はコンピュータシステムにより、その他は紙ベースの台帳で整理しています。「現場現物」を基本に本市が運用する方針管理システムで、限られた経費で最適の状態に保つ管理運営を行っています。アセットマネジメントについて



清風クラブ

吉田 成宏 議員

新しい米政策への取り組みについて

**質問** 確定した作物別の面積と、新規需要米等の作付動向を伺います。

**答弁** 水稲1,100 ha、小麦100 ha、大豆27 ha、飼料作物27 ha、そば15 ha、また加工用米51 ha、米粉用米、飼料米、WCS用は各3 haとなっております。新規需要米の普及拡大を図るには、JAを中心とした組織が仲介し、卸売業者や畜産農家、生産農家の要望をまとめる体制づくりが最良策です。コントラクターの育成については、高齢農家等の耕作委託の要望に応え、稲作を中心に「兵庫みらいアグリサポート」が受託しているが、WCSや飼料米については新たな組織によるコントラクター事業が待たれています。

は、その趣旨・メリット等を研究し、さらなる行財政運営の高度化に生かしていければと考えています。  
(小林副市長)

は、その趣旨・メリット等を研究し、さらなる行財政運営の高度化に生かしていければと考えています。  
(地域振興部長)



改革クラブ

河島信行議員

大池総合公園周辺の整備について

**質問** 大池総合公園(野球場、陸上競技場等の整備)について

**答弁** 各施設は老朽化し、特に、野球場の外野と陸上競技場の芝生は劣化していますので、まさ土の補充や雑草の草刈等の整備をします。

そして、利用関係者の意見に耳を傾け、快適な利用ができるよう施設整備に鋭意努力します。

**質問** 旧KDDI用地の『浄谷野球場』の今後の整備計画について

**答弁** 広大な土地であり、小野市の将来を見据えた広域的な視野に立ち慎重に進めます。野球場の管理は委託し、使用予約は教育委員会で行っています。

**質問** 小野東小学校の新築(改築)工事の具体的計画について

**答弁** 校舎改築は平成25年度から26年度に、体育館改築は平成27年度に行う予定で準備しています。

(教育次長)

北播磨の基幹駅『粟生駅』周辺の道路整備について

**質問** 粟生駅西側の道路拡幅について

**答弁** 消防等の緊急活動や地元住民の生活の利便性を考えますと、市として道路拡幅の必要性を十分認識しております。今後の取り組みにつきましては地元役員の方と調整しながら地権者への協力依頼を行ってまいります。

**質問** 粟生駅東側の道路拡幅について

**答弁** 粟生駅前のロータリー出入口については将来計画として検討します。

**質問** 粟生駅西側の浸水対策について

**答弁** 内水による浸水被害を防ぐためのポンプ設置について、地元区長から要望を受け、設置に向けた検討をすると回答しています。

**質問** 小野サティ店内での市民課窓口設置について

**答弁** 市民課窓口のみの設置は困難と考えます。

(市民福祉部長)



公明党

竹内修議員

若い夫婦世代の現状について

**質問** 少子高齢化などの影響により、人口の減少が大きな社会問題となっています。小野市の将来を考え、若い世代を増やしていく施策をお願いしていますが状況はどうですか。

**答弁** 中学校3年生までの医療費完全無料化等、市の施策が高く評価され、小野市に住みたいと思う人が増加したことから、良好な住宅供給ができたことが起因し、直近2年間は転入が転出を上回り、人口も増加傾向にあります。年齢別割合では、40代の世代と、人口動態や新築件数のデータから判断すると子育て世代の転入も増加傾向にあります。

近年、少子高齢化の影響による人口減少が問題となり、近隣市町においては人口の減少が顕著に表れている中、小野市はわずかではありませんが増え続けております。

また、現在計画している、北播磨医療センターの整備が進み、このエ

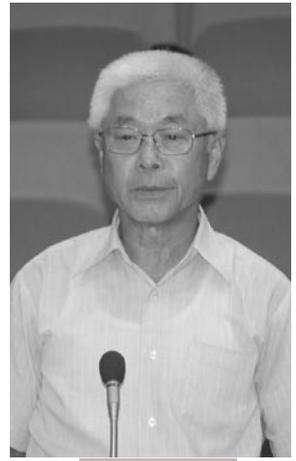
リアのポテンシャルが格段に高まれば、将来、住宅開発や病院に付随する企業の進出などが検討され、大きな期待を抱かせるエリアになると考えます。このエリアは県が所有する土地ですが、小野市の将来の都市像を描きながら、魅力的な街づくりを視野に、今後も県に対し、積極的に要望してまいりたいと考えております。(小林副市長・地域振興部長)

小野市の地籍調査について

**質問** 小野市の地籍調査の現状は

**答弁** 国土調査促進特別措置法の一部改正法が成立しましたが、当市では平成11年で、平地部分は全域完了し、残る調査区域は山林部のみとなっています。そこで小野市は、8年間地籍調査を休止していましたが、万勝寺・脇本地区のほ場整備事業に関連し周辺の山林について、昨年度から、約124haの地籍調査を開始しています。平成23年度には、測量作業を完了する予定であります。

(地域振興部長)



日本共産党

鈴木 垣 元議員

高齢者の所在確認について

**質問** 全国に広がる高齢者の行方不明問題は、地域や家族のきずなが希薄になっていることを改めて認識させられた。自治体の責任も問われているが、小野市の対応を伺う。

**答弁** 市では、毎年百歳以上と99歳（白寿）の高齢者の方々への長寿祝いを行っており、自宅や入所されている施設を訪問し、直接ご本人に記念品を贈呈し、家族への賛辞を申し上げている。本年は、百歳以上24名、白寿14名計38名の方を市長と担当部が訪問させていただいた。また、百歳以上の高齢者の介護サービス、医療受診状況など二重の整理を実施し、全員のご健在を確認しました。

**質問** 高齢者の実態把握は、地域包括支援センター・民生委員・自治会・老人会等が、それぞれの立場からさ

れていると思うが、行政の役割は。

**答弁** 小野市における高齢者の実態把握は、2年前に設置した「高齢者安心ネットワーク」により、区長会、民生委員、老人クラブなどの団体、介護保険サービス事業所、新聞・牛乳販売店、配食サービス事業者、警察、消防、社会福祉協議会等の関係機関に参画いただき、定期的に情報交換・状況把握に努めている。一人暮らし高齢者・高齢者のみの世帯については、これまでから実態把握に努めてきたが、7月には、各町民生委員のご協力を得て、市内一斉訪問による再度の実態調査を実施したところです。市では可能な限り実態把握に努めているが、この問題の本質は、ご家族や親族の関係にあり、人としての生き方そのものに大きなゆがみが生じているのではないか。心ふさがるような思いです。

(市民福祉部長)



議案質疑

改革クラブ

藤井 玉夫 議員

平成22年度小野市一般会計補正予算について

**質疑** 老人福祉推進費17,000千円の具体的な内容について

**答弁** この度の補正は、市の第4期介護保険事業計画に基づいた、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症グループホーム2ユニットを小野南圏域で新たに整備するにあたり、施設の開設準備に要する経費（介護職員の訓練等の雇用経費、職員募集、地域住民への説明会経費など）について、県の地域介護拠点整備事業を活用し、全額県費により助成しようとするものです。

なお、施設の整備予定地は、小野市場町地内で、9名の宿泊が可能な小規模多機能型居宅介護事業所、及び、18床の認知症グループホームを、来年6月開所予定で作業が進められています。

(市民福祉部長)

**質疑** 黒川西公園整備事業27,100千円の具体的な内容について

**答弁** 黒川西公園整備事業は、現在進めている黒川西土地地区画整理事業に関連したものです。

当該地区は、市街化区域となつて以来、約40年が経過するにもかかわらず、道路や上下水道の整備、さらには、公園整備などの住環境整備が遅々として進まなかった地区であり、本公園整備事業は、必要最小限の施設であるが、区画整理事業に先駆けて行い、公共施設を整備すべき行政の責務を果たすと共に、関連事業の促進を図るものです。

参考までに、黒川西土地地区画整理事業の進捗状況は、住民、地権者のご理解ご協力のもと、本年3月に、ほぼすべての関係者の仮同意がとれ、現在、来年度の組合設立に向けて、準備委員会を立ち上げ、境界測量や権利設定等の業務を進めている状況です。

(地域振興部長)



議案質疑

清風クラブ

松本哲昇議員

国民健康保険特別会計について

**質疑** 平成21年度決算報告、国民健康保険事業基金繰入金2億288万円の具体的内容について

**答弁** 平成21年度の国民健康保険特別会計の歳出決算額は、前年度に比べ、1億4064万円、29%増となり、なかでも、一般被保険者の保険給付費が前年度に比べ、2億6615万円、10.2%、また高額療養費は5982万円、21%と大幅に増加いたしました。主な要因は、高血圧性疾患、腎不全、精神疾患の増加、被保険者の高齢化などによるものですが、加えて、新型インフルエンザが猛威をふるったことも一因となっています。このため年度途中に財源不足が生じることのないよう国民健康保険事業基金から繰り入れて対応したものであります。

**質疑** 国民健康保険事業基金は加入者の掛け金の安定を計るものと考えますが残高はいくらですか？

**答弁** 21年度末の基金残高は126万8195円です。(市民福祉部長)

平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)について

**質疑** 大池バスターミナル整備事業、工事請負費1700万円の具体的内容について

**答弁** 小野サティ店舗の北東の広場スペースに、らんらんバスが乗り入れるためのロータリーやバスの待機場所の整備を行います。そしてバス停の環境整備といたしまして、バスシエルトやベンチの設置などを計画しております。整備後はらんらんバスをサティ内で待つことが可能になるため、利用者は季節や天候などの影響を受けずに快適に利用していただけるものと期待しております。

(小林副市長)



議案質疑

公明党

川名善三議員

平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)について

**質疑** 自殺対策緊急強化事業費70万円の具体的内容について

**答弁** 県で創設された「自殺対策強化基金」による補助事業を活用し、自殺予防についてのポスター等の作成や市民向け講演会の開催経費。具体的には、啓発ポスターの作成や「いのちの電話」などの相談窓口・機関を掲載した名刺サイズのカードの作成と市内全世帯への配布経費を、また、講演会として、11月20日(土)に京都大学から専門家を招いた「心あつたかフォーラム」の開催経費を予定しており、今後広くPRに努めます。

**質疑** 消費生活相談事業費750万円の具体的内容について

**答弁** 具体的には、750万円の内395万5千円については、相談窓口の周知、市民に対する消費者教育・

啓発の強化として、主に啓発冊子の作成費を予定。残りの354万5千円については、市相談窓口の充実を図る為、「相談スペース等の整備」に伴う備品購入費などを予定しており、具体的には、体の不自由な方など、市相談窓口までお越し頂くことが困難な方への「訪問相談」や市内コミセン等を利用した「出前相談」の実施に伴う移動手段として公用車購入し相談窓口体制を充実していきます。

(市民安全部次長)

介護保険特別会計補正予算(第1号)について

**質疑** 介護予防特定高齢者施策事業費70万4千円の具体的内容について

**答弁** 要介護状態になる可能性の高い65歳以上の虚弱な高齢者を対象に介護予防事業を受けて頂く為の「生活機能評価」に係る健康診断受診者の増加を見込み、所要額の補正を行うものです。

(市民福祉部長)

# 議会運営委員会行政視察報告

平成22年8月3日(火)～8月4日(水)

三重県伊賀市・京都府京丹後市

## 8月3日(火) 三重県伊賀市 「議会基本条例」について

市で最初に議会基本条例を制定し、「政策討論会」を開催して特色ある議会運営を行う中で、議会改革に取り組まれている現状について、説明を受けました。

「議会報告会」、「一問一答と反問権」、「政策の発生源など7項目」、「出前講座」など議会基本条例における7つの特徴的なことなどを中心に伊賀市の議会基本条例について説明をうけ、その後質疑等行いました。



## 8月4日(水) 京都府京丹後市 「議会基本条例」について



日本経済新聞で議会改革全国第1位と評価された議会改革の手法について、議会基本条例制定の経緯と合わせて説明を受けました。

「市民に身近で信頼される議会」を目標に「議会機能の強化」と「開かれた議会」を柱に様々な方向から議会改革にとりくまれている現状について、詳細な説明がありました。

市議会のホームページ

(議会日程を知る)

議会傍聴

(議場で直接聞く)

議会の活動を知るには

会議録検索システム

(本会議の内容を調べる)

議会だより

(議会の様子を知る)

自宅にいながら  
議会の傍聴

小野市議会  
Live中継

実施中!!

小野市ホームページから  
ご覧いただけます。

(傍聴に行けないとき)

# 平成21年度 決算に対する意見や要望



新しくなった市立小野特別支援学校の体育館

## ◎重点項目

「教育・文化の充実」

「安全安心社会の推進」

「子育て支援など福祉の充実」

「雇用対策・地域活性化の推進」

### 総合政策部

■次期総合計画は、基本構想審議会委員30名の意見や市民意識調査(1,041名のアンケート回答)等を参考に策定されるものと思われる。地球環境に配慮した計画を推進するとともに、人口推移や年齢構成の変化を見極め、いかに地域産業を育て雇用を創出するのかが市民生活をどう守るのかなど、混沌とする社会状況の中にあつて、これまでと違った視点で、次期総合計画の作成に取り組まれない。

### 総務部

■一般会計予算現額196億6,526万円に対し、決算において不用額が10億564万円(51%)発生しており、大半が経費節減、入札等による有効な不用額とされるが、中には諸般の事情により未執行となったものも見受けられる。出来る限り減額補正の手続きを行うよう努められたい。

■臨時職員の賃金は、年取が200万円に満たないことから若干のアップが行われ、200万円を切る人はなくなつたとのことである。今日、就職難・非正規雇用・低賃金労働が常態化しており、若者に夢のない時代となっている。少子化が国家的問題になっているが、結婚し家庭を持つと少しでも前向きに思えるような賃金体系に向け努力されたい。

■衛生的で環境にやさしい快適なまちづくりを推進し、市民の生活環境の向上を図るため、工事等において設置さ

れる仮設トイレは、工事発注時において、汲み取り式仮設トイレを出来る限り使用しない方向で調整されたい。具体的には、下水道区域では水洗式仮設トイレを使用することとし、浄化槽区域では、設置する浄化槽を利用した水洗式仮設トイレを使用されたい。なお、浄化槽利用が困難な場合は、バイオ式トイレの使用も併せて検討されたい。

### 市民安全部

■市内の食品販売業者、飲料販売業者等へのリサイクルを義務付ける指導を行うとともに、販売した商品に係る廃棄物(ペットボトル・飲料の空き缶、空き瓶、電池、蛍光灯、食品トレイ、玉子パック、牛乳パックなど)の引き取りの指導及び条例策定を検討されたい。特に蛍光灯については、随時引き受けできるシステムの確立に努められたい。

### 市民福祉部

■最も高い死亡要因とされる「がん」の予防に関し、特に女性特有の乳がん検診受診率については27%の状況とのことであり、目標とされる50%に達していないことから、今後、受診率の向上に向けた対策を講じられたい。

■国民健康保険制度は、市民の医療と健康を守る重要な役割を担っているが、長引く不況などで保険税が家計を圧迫している。一方、国保会計も、高齢社会の進展や医療の高度化により給付費が増え、基金も底をつくなど財源不足

が深刻になっている。保険税の改定も考えておられるようであるが、現在でも、収入額が調定額の72%という状況の中での値上げは、一層の未収金増加につながりかねない。

小野市は、これまで法定外繰り入れは行ってきたくないが、全国では、すでに約70%の自治体で法定外繰り入れが実施され、国保料(税)の引き下げなどの対応をしている。公平を欠くという指摘もあるが、低所得者の多い国保会計への繰り入れは、所得再配分の見地からも市民は十分納得されるものと考えられるため、引き続き検討されたい。

### 地域振興部

■農家は5年間で22%も減つたと聞きます。担い手不足、農家の高齢化、農産物価格の低迷など、農業・農村を取り巻く環境はますます厳しくなっている。そうした中で、担い手への農地集積や、集落営農の推進、農作業受委託コントラクターの育成、6次産業化を旨とした業種連携による新商品の創出など対策は多岐にわたっている。集落営農も、15以上の団体が届けをされており、新しい農政の展開次第で加速度的に組織化に進む事も考えられるが、具体的な集落営農の進め方について、集落営農の組織化・法人化を想定したより効果的な推進や体制づくりに取り組まれたい。

■神戸市長田の「ぼっかけ井」、加古川の「かつめし」、姫路の「おでん」

# 決算総額351億円

市債残高139億7千万円  
基金残高 74億2千万円

## 実質公債費比率13.7%

一人あたり県下29市中、借金は県下2番目に少なく、貯金は県下7番目に多い!

## 将来負担比率1.4%

将来負担比率は、県下で最も少ない!

(将来負担比率とは、自治体の収入に対し、一般会計が将来支払うべき借金等の割合です)

など、B級グルメのB-1グランプリで優秀な成績を収め、その後、特産品として成功した事例は多くある。

消費者の嗜好の変化や、栽培技術の全国的な動向に絶えず留意し、消費者の市場行動の把握などに取り組み、特産品開発に進む方向を検討されたい。例えば、産地としてある程度評価を得ているイチジクについて、いつまでも「榊井ドーフィン」に固執せず、果敢に「HC-61」等の新品種導入にチャレンジされたい。

■平成21年度決算では、万勝寺谷地区営農組合のコンバイン(598,5万円)を導入に対し、県費(199,5万円)に上乗せして約61万円を補助している。集落営農は、農業者の高齢化や後継者がいないため、作付け出来ない農地を所有者に代わり管理するなど、地域の農地を保全し自給率向上に貢献している。また、自然環境を保持するのに大きな役割を果たしている。しかしながら、大型農機具の購入費や維持費により、採算の取れる農業経営ではない。したがって、集落営農活動支援については、県費への上乗せという考え方でなく、市単でも常時1,000万円〜2,000万円程度の予算を検討されたい。

■農地・水・環境保全向上活動支援事業は、5カ年の継続事業であり、平成21年度で3年目を向かえる。この事業は、農地を取り巻く環境が荒廃していく中で、荒れた環境を保全するため、時限を切って立ち上げた事業とも考え

られる。時限事業が終わった後どうするのか。国の事業であるが、地域の特性に合った事業として継続させる方向により一層検討されたい。

■島谷川沿いの竹伐採事業は、雇用創出事業であり、財源は全て県費である。この事業で、川に倒れこんでいた竹が処分され綺麗になりスッキリしたが、処分の方法は見直す必要がある。

雇用創出事業の理解はするが、重機を使い、竹をハサミで掴み引っ張り出しダンブに乗せ処分する。何日もかかる能率の悪いやり方ではなく、地元の消防団の協力により行えば、一日程度で処分できたのではないか。また、地元の河川美化に消防が関わることで川への愛着も生まれる。処分方法については検証が必要である。

### 教育委員会

■図書館の運営に関しては、最新の(L i c s - R Ⅲ)システムを導入され、貸し出し数・入館者数ともに好調を維持されている。新刊書の早期提供を始め、利用者サービスの向上に努め、多くの自主事業に取り組みなど市民満足度は良好であると思われる。今後は、ITの急速な進歩により、電子書籍時代が早晩到来する事が予測されるため、携帯やインターネットを介して書籍の購入が即時出来るようになり、図書館利用の形態が大きく変わる可能性がある。

利用者の動向や、新刊書購入の選択などに留意し、時代を先取りする事業運営を進められたい。また、リサイクル

ルフェアについては、家庭に眠る書籍やDVD等は、膨大な量が予想されるが、リサイクルされる量はごく一部に限られると思われる。フェアの趣旨や、エコ対策としてのPRに努め、優良な図書等は積極的に蔵書に加えるなど創意工夫に努められたい。

■学習能力や体力向上のため、おの検定やハートフルチャレンジ事業、川島理論に基づく16歳教育の推進など、先進の教育に取り組まれているが、全国的なレベルについては公表されていない。

トップレベルにある秋田県の実況をみると、秋田の強みは学校の力・家庭の力・子供の力の相乗効果にあると思われる。

なかでも、PDCAサイクルの確立、個に応じた指導の充実、児童生徒の学びのサイクルの確立、開かれた学校づくりの推進等、学ぶべき点も多い。小野市も、モジュール学習やICT教育で時代の最先端を行く教育の更なる充実を図ると共に、トップレベルの取り組みを貪欲に取り入れ、更なる向上を目指されたい。

■市内の小学校・幼稚園・特別支援学校の計11校には、それぞれ警備員が常駐し、子供たちの安全を守っている。しかし、警備員が休むボックスは非常に狭く冷房設備もないため「大変だ」と聞いている。市は、警備会社に委託しており直接責任のないことであるが、人道上的問題であるため、警備会社へ改善するよう進言されたい。

# 常任委員会審査報告

9月定例会の提出議案審査付託について、9月24日に総務文教、9月27日に民生保健、9月28日に地域振興の各常任委員会を開催しました。  
 審査付託議案は、議案第42号から議案第56号及び請願第2号の計16議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。  
 各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

## 【総務文教常任委員会】



総務文教常任委員会の審査風景

- ・ 議案第42号  
 平成21年度小野市歳入歳出決算の認定について
- ・ 議案第43号  
 平成21年度小野市都市開発事業会計決算の認定について
- ・ 議案第47号  
 平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)
- ・ 議案第54号  
 小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第55号  
 小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第56号

小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

## ・ 請願第2号

中小業者の自家労賃を必要経費として認めることについての請願  
 採決の結果、議案第42号、議案第43号、議案第47号、議案第54号から議案第56号は、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。請願第2号は、不採択すべきと決まりました。

## 【民生保健常任委員会】

- ・ 議案第42号  
 平成21年度小野市歳入歳出決算の認定について



民生保健常任委員会の審査風景

- ・ 議案第44号  
 平成21年度小野市病院事業会計決算の認定について
- ・ 議案第47号  
 平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)
- ・ 議案第48号  
 平成22年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議案第49号  
 平成22年度小野市老人保健特別会計補正予算(第1号)



地域振興常任委員会の審査風景

- ・議案第50号  
平成22年度小野市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・議案第51号  
平成22年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・議案第53号  
小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び小野市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例の

制定について

採決の結果、議案第42号、議案第44号、議案第47号から議案第51号、議案第53号は、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。

【地域振興常任委員会】

- ・議案第42号  
平成21年度小野市歳入歳出決算の認定について
  - ・議案第45号  
平成21年度小野市水道事業会計決算の認定について
  - ・議案第46号  
平成21年度小野市下水道事業会計決算の認定について
  - ・議案第47号  
平成22年度小野市一般会計補正予算(第2号)
  - ・議案第52号  
平成22年度小野市水道事業会計補正予算(第1号)
- 採決の結果、議案第42号、議案第45号から議案第47号、議案第52号は、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。

## 本会議傍聴者用の 休憩室を設置

本会議を傍聴に来られた市民の皆さんに、本会議の休憩時間をくつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。

休憩室の設置は、一般質問や質疑のある日です。また、部屋には、セルフサービスのお茶も用意しています。



傍聴を  
お待ちしております。

## 12月定例会日程

12月定例会の日程が決まりました。

- 11月30日(火) 本会議(第1日) 10時～
- 12月15日(水) 本会議(第2日) 10時～
- 12月16日(木) 本会議(第3日) 10時～
- 12月22日(水) 本会議(第4日) 13時30分～

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長・部長が答弁します。

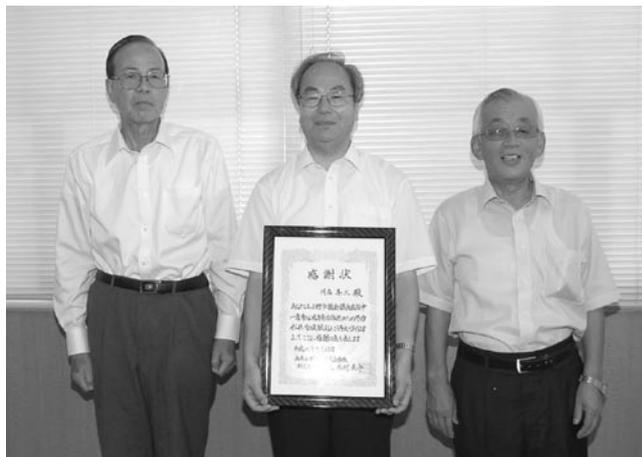
## 話見コーナー

12月15日(水)・16日(木)  
ご希望の方は、12月7日(火)までに、議会事務局までお申し込みください。



## 川名善三議員が 兵庫県市議会議長会 から感謝状

7月23日(金)豊岡市において、第233回兵庫県市議会議長会総会が開催され、川名善三議員が正副議長職を2年以上務められた功績に対し、兵庫県市議会議長会より感謝状が贈呈されました。



## ◎ 議会の動き ◎

### 【8月】

- 2日 地域振興常任委員会研修会
- 3日・4日 議会運営委員会行政視察(伊賀市・京丹後市)
- 4日 行政視察来市(栃木県足利市・茨城県小美玉市)
- 5日～6日 議員特別研修(滋賀県)
- 6日 小野市珠算競技大会
  - ♪ ひまわり園夕涼み会
- 9日 民生保健常任委員会研修会
  - ♪ 北播磨総合医療センター企業団議員協議会
- 10日 全国市議会議長会基地協議会近畿部会総会(伊丹市)
- 10日・11日 清風クラブ行政視察(名古屋市・高浜市)
- 12日 播磨内陸医務事業組合決算審査
  - ♪ 北播衛生事務組合決算審査
- 17日 東播淡路市議会議長会研修会(加古川市)
- 17日～20日 議員特別研修(滋賀県)
- 18日 議員協議会
- 20日・21日 議員特別研修(滋賀県)
- 21日・22日 小野まつり
- 23日 兵庫県地方議会協議会(神戸市)
- 24日 北播磨総合医療センター企業団議会
- 25日 小野市民生委員推薦会
- 26日 小野加東広域事務組合議会
- 27日 議会運営委員会・市議会報編集委員会
- 28日 ひまわり杯少年サッカー大会(三木市)
- 30日 決算研修会(第1日)
- 31日 決算研修会(第2日)
  - ♪ 兵庫県地域づくり懇話会

### 【9月】

- 1日 決算研修会(第3日)
- 3日 本会議(1日目)
  - ♪ 議会運営委員会
- 11日 市内中学校秋季体育祭
- 18日 市内小学校秋季体育祭
- 21日 本会議(第2日)
- 22日 本会議(第3日)
- 24日 総務文教常任委員会
- 27日 民生保健常任委員会
- 28日 地域振興常任委員会
- 30日 本会議(第4日)
  - ♪ 議員互助会役員会

### 【10月】

- 1日 西脇市制5周年記念式典(西脇市)
  - ♪ 北播政経懇話会(西脇市)
- 4日 老人クラブ体育祭
  - ♪ 行政視察来市(福井県大野市)
- 4日～5日 議員行政視察(福井県坂井市・富山市)
- 6日 職員研究発表会
- 7日 行政視察来市(東京都福生市)
- 8日 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会(加東市)
- 12日 行政視察来市(千葉県市原市)
- 12日～14日 清風クラブ会派行政視察(稲敷市・福島市・いわき市)
- 13日 播磨内陸医務事業組合議会
- 14日 行政視察来市(埼玉県飯能市)
- 15日 行政視察来市(大分県日田市)
- 17日 小野匠工業会大運動会
- 18日 兵庫県市議会議長会正副議長研修会(神戸市)
- 19日 議会運営委員会
  - ♪ 議員協議会
  - ♪ 市議会報編集委員会
- 19日～22日 市長村議会議員特別研修(滋賀県大津市)
- 20日～21日 全国市議会議長会研究フォーラム(大分県大分市)
- 24日 小野市産業フェスティバル
- 25日 臨時議会
  - ♪ 議員協議会
- 27日～29日 改革クラブ行政視察(南房総市・東金市・佐倉市)
- 28日 近畿市議会議長会理事会(姫路市)
- 31日 樫山駅コミュニティ施設オープニング式典
  - ♪ 小野市フットサル選手権大会

## 自宅にいながら 議会の傍聴



インターネットで市議  
会の中継が見られます。

### 12月定例会の日程

- 11月30日(第1日目) 10時～
- 12月15日(第2日目) 10時～
- 12月16日(第3日目) 10時～
- 12月22日(第4日目) 13時30分～

